



川崎市立多摩病院



聖マリアナ医科大学

24号

夏

# たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2019



## ポリファーマシーについて

総合診療内科 副部長 家 研也

### ポリファーマシーとは？

病院では何らかの病気の治療の目的（高血圧や糖尿病など）や、辛い症状をよくする目的（腰痛に対する痛み止めなど）で患者さんに対してお薬が処方されます。ところが、お持ちの病気の種類が多い場合や、様々な症状がある場合にはどうしてもお薬の種類が多くなってしまふことがあり、このような状態をポリファーマシーと呼びます。特にご高齢の方ではポリファーマシーによりお薬の副作用など健康への悪影響が出やすくなったり、病院や薬局で支払う医療費が高くなってしまふことが問題視されています。

何剤からポリファーマシーと呼ぶかについての厳密な基準はありませんが、5～6種類以上を一つの目安と考えられています。

### ポリファーマシーの対策はどうすればよいか？

ポリファーマシーは対策を講じるべき状態に違いありませんが、一概にお薬を減らせば良いかという、そうではありません。持病の組み合わせによっては、たとえお薬が10種類処方されていたとしてもその全てが「必ず必要」で「減らすことのできない」お薬である場合もあります。一方で、よくよく状況を整理してみると、処方されている10種類のお薬のうち5種類にお薬を減らしても支障がないような場合もあり得ます。

このように、ポリファーマシー対策においては一人ひとりの病状や生活状況を踏まえて、薬物療法に対する十分な知識と経験のある医療者と患者さんが相談をして、処方内容の見直しを図ることが大切です。

### 多摩病院におけるポリファーマシー対策

川崎市立多摩病院では、内科に入院された65歳以上の方のうち5種類以上のお薬を飲んでいる方を対象に、お薬の専門知識を持つ医師、看護師、薬剤師のチームにより、処方内容の見直しを行うことが有効かどうかを検証する臨床試験を行っています。この臨床試験の対象となる方には、担当医もしくは試験担当者より参加の意思をお尋ねすることがありますので、ご了承ください。

この臨床試験に参加されない場合でも、お薬が多い、何のために飲んでいるかわからないなど、お困りのことがありましたら担当の医師、看護師、薬剤師へご相談ください。

## 部門紹介

# 総合診療内科

内科は必ずしも単一臓器に限らないため、当科では専門各科のバックアップのもと臓器や年齢を問わない総合的なマネジメント（診断、治療、予防）を行うことを主な役割としております。どの専門科を受診すればよいかわからない症状や、他院における診断困難症例、また日常的にみられる症状や病気をもたれる患者さんの外来・入院診療、地域における基幹病院として、幅広い診療を行っています。また、初期研修医や内科専攻医、総合診療専攻医などが医師として必須かつ生涯役立つ基礎能力を研修する場として、聖マリアンナ医科大学における卒前・卒後臨床教育の役割の一つを担っています。



## スマートフォンを利用した 患者サービスを開始しました。

2019年1月より、スマートフォンと連動した患者サービス「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」を導入し、病院外や待合室以外の場所で、診察までお待ちいただくことが可能となりました。

患者さんのスマートフォンにアプリをダウンロードし、利用登録後初診再診受付や東西受付にて患者番号と紐づけ登録を行えば、即日利用可能となります。利用にあたり通信費以外の利用料は発生しません。また、当日以降の予約状況の確認や「かわさきのお医者さん」で近隣医療機関の検索も行えます。ぜひご利用ください。



右記QRコードを読み取り、  
アプリをダウンロードして  
ご利用ください。



iPhone用



Android用